

講義とロールプレイを行う部屋は同一でも、
講義の部屋とロールプレイの部屋を分けても構いません。

講義とロールプレイを行う部屋を同一にする場合の部屋の広さの目安

受講生20名：100m²

受講生30名：150m²

ロールプレイは隣のブースと距離を開けた方が雑音が入りにくいです。
そのため、会場は広さに余裕を持って確保してもらえると助かります。

ただし、最も理想的なスタイルは、

全員が入れる講義室 1室

(40名～60名での開催のときには、全員が入れる講義室 1室に加えて、
30名程度入れる講義室を別にもう1室ご用意ください。)

+

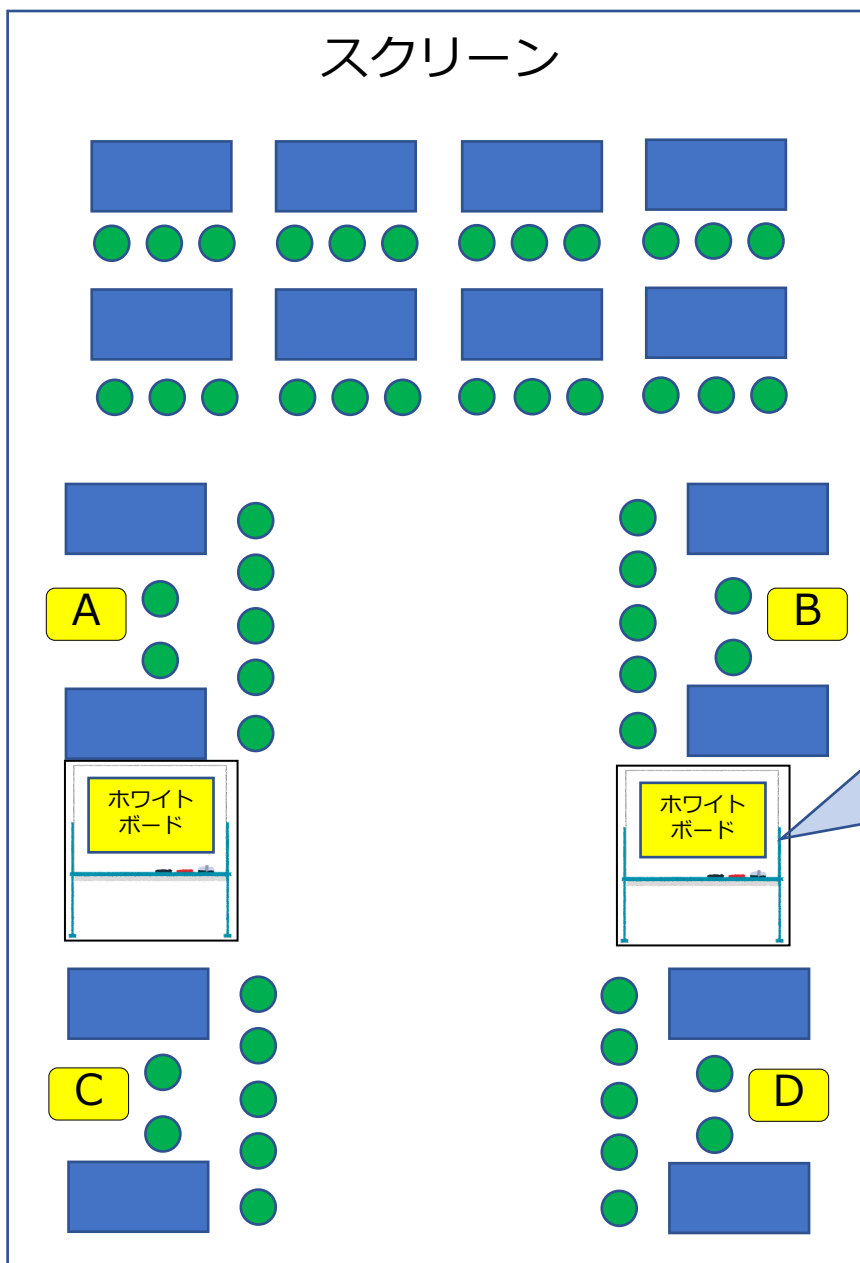
ロールプレイ用にグループごとに1室ずつ

(各部屋に長机2台、椅子7脚、ホワイトボード)

+

インストラクターの控え室 1室

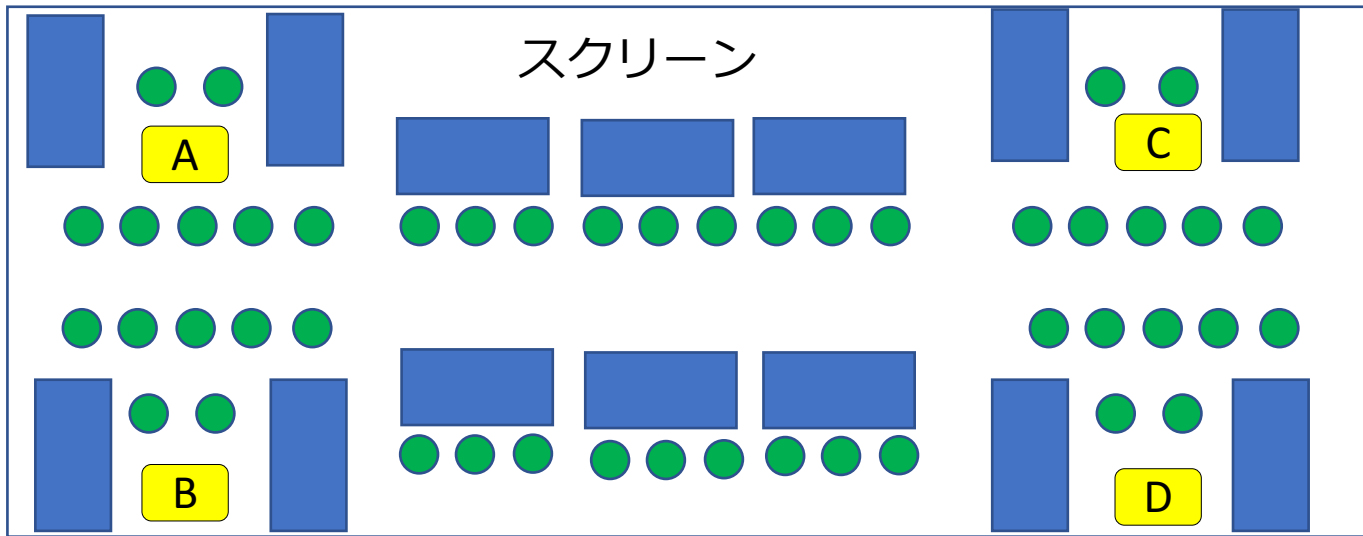
参加者**20名**のコースで、**100m²**の大部屋で講義と4ブースのロールプレイを行う場合



ホワイトボードは表裏の両面使用し、2ブースで共用、あるいは1ブースに1枚ずつご用意ください

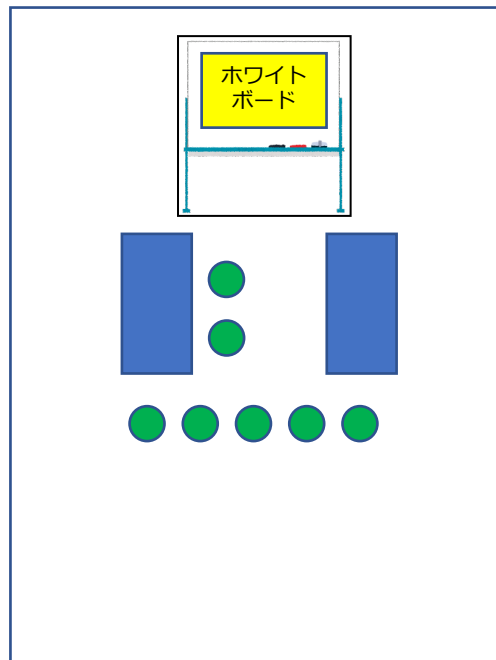
青い四角は2mの長机を想定. 緑は50cm四方の椅子を想定.

横長の部屋の場合は、
このような配置にした方がブース間の距離をとることができます。



青い四角は2mの長机を想定. 緑は50cm四方の椅子を想定.

ロールプレイを講義と別室で行う場合、
各部屋での物品の配置は以下のようにしてください



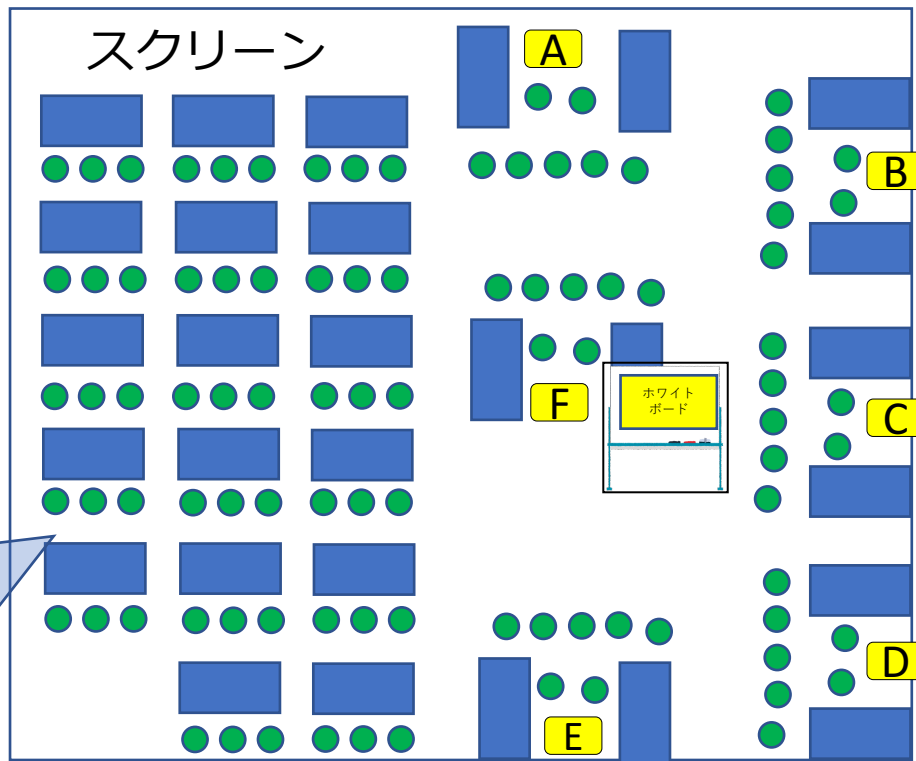
青い四角は2mの長机を想定. 緑は50cm四方の椅子を想定.

特殊ケース

実際にあった変則的な配置 (参加者50名)

部屋①

横18m×縦15m (270㎡)

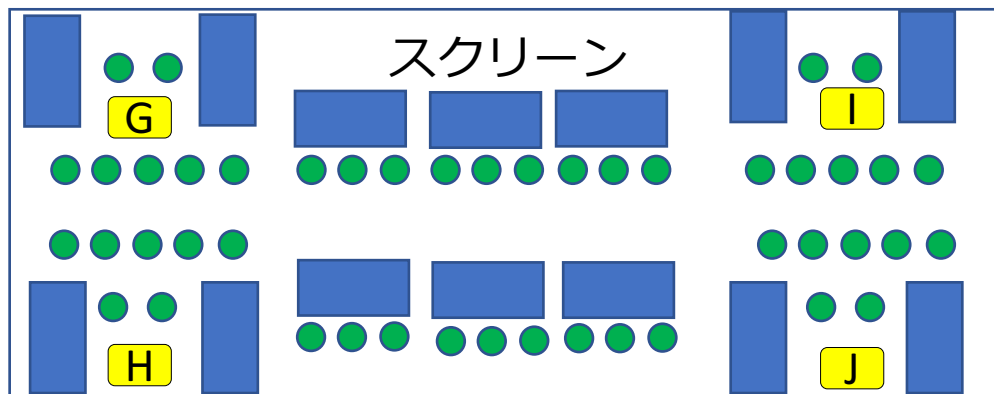


イントロと質疑応答は部屋①に全員集まって行えるように、部屋①には全員座れるような机と椅子を準備

イントロと質疑応答のみ全体でやり、その後の講義とロールプレイはA~FとG~Jに分かれて行った。壁に面したブースでは「壁に貼れるホワイトボード」を使用した。という事例

部屋②

横18m×縦7m (126㎡)



青い四角は2mの長机を想定. 緑は50cm四方の椅子を想定.